

4年連続 Grower Of Salad Club 受賞の“責任産地” JA豊橋 キャベツ部会 てつコン倶楽部 キャベツの出荷が本格化します！

JA豊橋キャベツ部会てつコン倶楽部（豊橋市／会長：加藤正人）のキャベツの出荷が、11月中旬以降本格化します。当倶楽部は、段ボールではなく右の写真のように“鉄コンテナ”を用いて出荷しており、主にはカット野菜など、加工に用いられるもので、主な出荷先はサラダクラブです。



サラダクラブでは毎年、良質な野菜を出荷する産地・団体を表彰する“Grower Of Salad Club”を開催しており、当産地は4年連続で最優秀賞を受賞しております。

加工に用いるキャベツには大きいサイズ、芯が低いもの、扁平なものなど、一般の小売で並ぶキャベツとは異なるニーズがあります。



小売り用よりも大きいサイズのキャベツを出荷します。

これは、実需者にとって①効率的に作業ができること、②高品質な商品を作れること③食品残渣を減らすこと—につながります。当倶楽部の部員はこの基準に合ったキャベツを生産するため、大玉が作りやすい品種を選抜するなど、小売り用のキャベツとは異なる基準で栽培に取り組んでいます。

今年は残暑が続き、管理が例年と異なる中、良質なキャベツを提供できるよう、部員間で情報交換して対策するなど努力を続けています。

JA豊橋キャベツ部会 てつコン倶楽部

会長：加藤正人 会員数：20人 栽培面積：110畝 生産数量：9,300t

流通先：東京・大阪の加工会社を中心に、全国（小売り以外）に流通

主な用途：千切り野菜、飲食店・冷凍食品用の餃子のタネ、飲食店のサラダなど

出荷期間：11月中旬～4月、5月～7月上旬

【お問い合わせ先（本件の取材には個別に対応いたします。）】

JA豊橋 総務部組合員課（担当：加藤・鈴木） Tel(0532)-25-4105

携帯 090-3830-9165 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp